

千葉県誕生150周年記念事業

～産業系（農業・工業・商業）高校の取り組み～

令和5年6月15日に千葉県が誕生して150周年を迎えました。県教育委員会では、児童生徒たちが郷土への愛を深められるよう、小・中・高・特別支援学校で様々な取り組みを実施します。

今回は職業系専門学科（農業・工業・商業）設置校を中心とした県立高校の取り組みを紹介します。

農業系高校の取り組み

農業系高校の取り組みでは、千葉県誕生150周年を記念したポスターを作成して販売会のPRを行い、各校が栽培・収穫した農作物や製造した製品等を2回販売しました。各企業に御協力をいただき、1回目は6月17日（土）に千葉駅ペリエ前のコンコース、2回目は6月24日（土）にホテルポートプラザちばにて行いました。農業関係高校14校（薬園台・流山・清水・成田西陵・下総・多古・旭農業・大網・茂原樟陽・大原・安房拓心・君津・君津青葉・市原）が参加しました。

ペリエ前コンコースでの農産物販売会

JR千葉駅のペリエ前のコンコースは、たくさんの人で溢れました。各校の生徒たちは通行人の方々に元気よく声をかけ、自ら栽培した農産物や加工品等をPRしました。



たくさんの人で賑わう
ペリエ前のコンコース



トウモロコシやジャムを販売する
大網高校の生徒たち



安房拓心高校が製造した
枝豆味噌

ホテルで朝市（ホテルポートプラザちば）

販売開始前からたくさんの人で賑わいました。開会式では、農業部会長の茂原樟陽高校伊藤校長先生から、「千葉県誕生から150年間、現在も農業は千葉県の基幹産業であり、県民の誇りとも言えます。千葉県で『農』と『食』を学ぶ生徒、学生は貴重な存在であり、将来の千葉県、日本の人々の食生活を守る未来の担い手であると確信しています。」と話がありました。



開会式で挨拶をする伊藤校長先生（茂原樟陽高校）



たくさんの来場者で賑わう会場



薬園台高校園芸科で育てた野菜



君津青葉高校で育てたトウモロコシ



キウイジャムを販売する清水高校の生徒たち
 農業関係高校 14 校の他にも、特別支援学校 2 校（市川大野高等学園・市原特別支援学校つるまい風の丘分校）と農業大学校が参加しました。



旭農業高校は焼菓子やレトルトカレーも販売

工業系高校の取り組み

工業系高校の取り組みは、県立千葉工業高校がカウントダウンボードを製作し、他にも式典の記念品となる文鎮製作を行いました。現在金属 3D プリンター、レーザー加工機を使用してキーホルダー製作にも取り組んでいます。

また、県内 3 校の工業系高校（千葉工業・東総工業・茂原樟陽）が小中学校と協働して取り組む「100 年後の千葉未来会議」を実施します。

千葉県誕生 150 周年記念式典の記念品

6 月 11 日（日）に松戸市の森のホール 21 で行われた 150 周年記念式典では、国会議員をはじめ、たくさんの方が出席されました。来賓の方々には、記念品として、チーバくんのオリジナルの文鎮が配付されました。文鎮 300 個を県立千葉工業高校の電子機械科の生徒・先生方が時間をかけて丁寧に製作しました。



「CHIBA150th」の文字とチーバくんが綺麗に彫られています。式典の出席者には記念品となる文鎮が贈られました。



千葉県誕生150周年記念ロゴマーク入りのケースに入れて贈られました。



千葉工業高校にはたくさんの精密機械があります。これらの機械を使用してオリジナルの文鎖が製作されました。



「100年後の千葉未来会議」

県立千葉工業高校、県立東総工業高校、県立茂原樟陽高校の3校が工業高校ならではの強みを生かし、小中学校と協働して100年後の様々な分野について考え、発表等を行います。

今回は茂原樟陽高校環境化学科5名の生徒が、6月22日(木)に九十九里中学校を訪問し、専攻している環境化学を通じた出前授業を行いました。その後は、中学生が事前に作成したワークシートを基に話し合いを実施しました。



環境化学部に所属する生徒5名が芳香剤作りを通してポリマーの性質を教えました。



各グループに高校生が1名ずつ入って中学生にアドバイスしました。



100年後の化学・情報、環境について様々な意見が出ました。高校生は自分たちが学んでいる分野に関連させて意見を発表しました。



最後は高校生5名と九十九里中の生徒会役員4名で写真撮影をしました。

商業系高校の取り組み

商業系高校では、企業と連携した取り組みとして、山崎製パン株式会社からビジネスについて学び、協同で商品開発を進める取り組みを5月から行っています。

また、今後千葉県誕生 150 周年をテーマとする研究発表会を実施する予定です。

山崎製パンとの連携

5月から山崎製パンと県立商業高校4校（千葉商業・銚子商業・東金商業・君津商業）の連携が始まり、48名の生徒が参加しています。6月27日（火）には第3回目のワークショップが市川市の山崎製パン[※]総合クリエイションセンターで行われ、7月に予定している新商品のプレゼンの練習を行いました。

各校の具体的な商品開発案については、現時点ではお知らせできません。どの学校のどの商品が選ばれるか、正式発表までお待ちください。終了後は、山崎製パンの担当者の方々から、講評や今後に向けたアドバイスをいただきました。

※県教委ニュース Vol. 311（6月2号）P.2において、誤って「総合クリエイションセンター」と記載しておりました。

正しくは、「総合クリエイションセンター」となります。お詫びして訂正いたします。



千葉商業高校

「地産地消」を生かした商品開発を提案



銚子商業

顧客満足度について発表



東金商業高校

千葉県の作物を使用した商品開発を提案



君津商業高校

具体的な商品を3つ提案

お問い合わせ先：企画管理部教育政策課 政策室 電話 043-223-4177